

## 淀川区における「青少年の居場所づくり」平成 28 年度・29 年度取組報告

## 平成 28 年度

- 平成 28 年 8 月：第 1 回子どもの貧困対策 PT 発足  
大阪市こどもの貧困対策推進本部の動きを受け、総務課を事務局として発足  
→全課の課長と係長が参画し、区役所全体として横断的に取組む
  
  - 平成 28 年 9 月：第 2 回子どもの貧困対策 PT 開催  
区役所各課における「子どもの貧困対策」に関する公的サービス調査実施
  
  - 平成 28 年 10 月：第 3 回子どもの貧困対策 PT 開催  
29 年度重点予算について検討  
→「子ども未来かがやき塾」の拡充＝採択（低所得者世帯児童の学習支援）  
予算化はないが、「子どもの居場所づくり」に PT として取組むことに
  
  - 平成 28 年 10 月 23 日：森栗先生による「子どもの居場所づくり」講演会開催  
→講演会を契機に、新東三国地域（※1）、北中島地域（※2）、野中地域（※3）  
3 地域で「子どもの居場所」が発足
  
  - 平成 28 年 10 月～平成 29 年 3 月：第 4 回～第 7 回子どもの貧困対策 PT 開催  
地域での子どもの居場所づくり活動の実態把握に向けた役割分担  
市社協「大阪市ボランティア活動振興基金」活用支援  
→子どもの居場所づくり関連で 7 件採択
  
  - 平成 28 年 3 月 27 日：地域における青少年の居場所づくりシンポジウム開催  
淀川区からの事例発表：「新東三国地域：冬休み宿題カフェ」（※1）  
→平成 28 年 12 月に開催。新東三国小学校のいきいき教室を活用した取組み。  
冬休みの宿題を大阪大学学生に教わる。
- （※2）「北中島こども宿題広場」  
平成 29 年 2 月から試行実施、4 月から本格実施。  
毎月 1 回、福祉会館で専門学校生と宿題をした後に軽食、異年齢での遊び。  
小学校と連携をとっているため、毎回 100 名程度が参加。
- （※3）「野中宿題広場」  
平成 28 年 12 月から開催。毎回数名程度の参加。  
夏休み冬休みなどの長期休業中に福祉会館で実施、講師として地域住民が参加。

## 平成 29 年度

- 平成 29 年 6 月：第 1 回「淀川子ども居場所ネットワーク」開催  
区社会福祉協議会・区まちづくりセンターの三者が協働して発足  
2 ヶ月に 1 回程度会合をもち、活動者同士の情報共有や意見交換実施  
当初 7 団体が参画（平成 29 年 10 月現在、10 団体に参画拡大）
  
- 平成 29 年 7 月：第 8 回子どもの貧困対策 PT 開催  
区役所 HP での子どもの居場所情報発信の検討  
昨年に引き続き、森栗先生による子どもの居場所づくり講演会の開催検討
  
- 平成 29 年 8 月：第 2 回「淀川子ども居場所ネットワーク」開催  
フードバンクについての情報交換  
民間助成金情報提供  
区役所 HP での子どもの居場所情報発信の検討
  
- 平成 29 年 9 月：第 9 回・第 10 回子どもの貧困対策 PT 開催  
30 年度重点予算について検討  
→子ども未来かがやき塾拡大＝採択  
まちづくりセンター支援員増員＝不採択  
子どもの居場所づくり講演会の広報支援
  
- 平成 29 年 9 月：第 3 回「淀川子ども居場所ネットワーク」開催  
10 月開催「福祉のつどい」発表に向けた活動報告書の作成  
民間助成金情報提供
  
- 平成 29 年 10 月 18 日  
区社会福祉協議会主催「福祉のつどい～福祉実践報告～」開催  
子どもの居場所づくりに取り組む区内 7 団体からの活動報告と森栗先生による  
パネルディスカッション。区内全地域から約 300 名が参加
  
- 平成 29 年 11 月 26 日：森栗先生による子どもの居場所づくり講演会開催予定  
区社会福祉協議会の協力により、18 地域各地域社協へ参加依頼  
地域ごとに別れてグループディスカッション